

テープになったクロルピクリンくん蒸剤
土壌消毒剤

クロピクテープ[®]

クロルピクリンくん蒸剤

有効成分：クロルピクリン（PRTR法 第1種-285号）55.0%

毒性：劇物

製品荷姿：28m×8袋/箱

クロピクは三井化学アグロ（株）の登録商標



施設内、
育苗土の
消毒に！



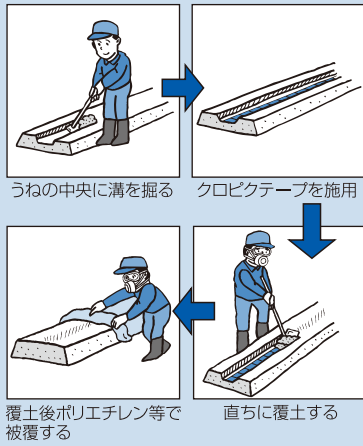
クロルピクリンが
ラク〜に処理できます。
シツカリ効きます。

特長

- ① クロルピクリンがテープに封入されており、刺激臭が軽減されています。
- ② 土中の水分で溶けたテープからクロルピクリンが土中に拡散し、効き目を現します。
- ③ 扱いやすいテープ状です。施用機械は必要ありません。

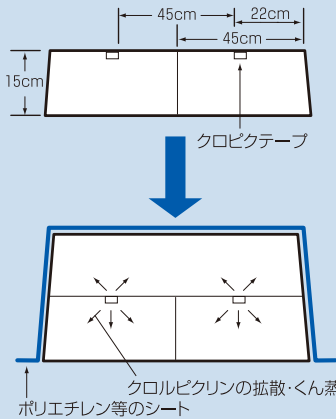
使用方法 (圃場)

- 1 耕起整地後、90cm幅でうねを立てます。
- 2 うねの中央に深さ約15cm幅の浅い溝を掘り、その溝に本剤を1本施用し直ちに覆土します。
- 3 覆土後は直ちに、必ずポリエチレン、ビニール等で被覆します。
- 4 処理10日以上経過してから播種または移植します。



使用方法 (育苗土・床土)

- 1 床土を15cm程度の高さに積み、クロピクテープを45cm間隔で置いて下さい。
- 2 さらに15cmの高さまで土を積み上げた後に、ポリエチレン等で被覆します。
- 3 処理後、7日以上(地温により異なります)おいてから、被覆を取り除き、耕起し、ガス抜きをした後に使用します。



適用病害虫と使用方法

平成29年1月15日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	苗立枯病 (リゾクトニア菌・ピシウム菌)	〈床土・堆肥〉 2.2m ² /m ²	*	1回	3回以内(床土1回以内、圃場2回以内)
	つる割病 ネコブセンチュウ				
スイカ	ネコブセンチュウ	〈圃場〉 110m ² /100m ²			
メロン	苗立枯病 (リゾクトニア菌・ピシウム菌)	〈床土・堆肥〉 2.2m ² /m ²	*	1回	*
かぼちゃ	黒点根腐病 ネコブセンチュウ				
きく	立枯病	1回	1回	1回	3回以内(床土1回以内、圃場2回以内)
ねぎ	半身萎凋病				
わけぎ、あさつき	白絹病	1回	1回	1回	*
にら	紅色根腐病				
しょうが	根茎腐敗病	1回	1回	1回	**
いちご	萎黄病 疫病 ネグサレセンチュウ				
ほうれんそう	萎凋病	〈圃場〉 110m ² /100m ²	1回	1回	**
かんしょ	ネコブセンチュウ				
レタス 非結球レタス (サラダ菜を除く)	ビッグベイン病	1回	1回	1回	*
サラダ菜	ビッグベイン病				
さやえんどう	萎凋病、根腐病	1回	1回	1回	**
チューリップ	根腐病				
カーネーション	萎凋細菌病	1回	1回	1回	3回以内(床土1回以内、圃場2回以内)
トルコギキョウ	根腐病、立枯病				
りんどう	褐色根腐病	1回	1回	1回	**
なす	青枯病、半身萎凋病				
ピーマン	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	〈床土・堆肥〉 2.2m ² /m ²	*	1回	3回以内(床土1回以内、圃場2回以内)
とうがらし類	青枯病、疫病				
トマト	萎凋病、褐色根腐病 ネコブセンチュウ	〈圃場〉 110m ² /100m ²	*	1回	3回以内(床土1回以内、圃場2回以内)
ミニトマト	苗立枯病 (リゾクトニア菌・ピシウム菌)				
キャベツ	苗立枯病(リゾクトニア菌)	〈床土・堆肥〉 2.2m ² /m ²	1回	1回	*

*:2回以内(床土1回以内、圃場1回以内) **:2回以内(床土1回以内)

使用上の注意

- 1 必要量を購入し、外袋の開封後は直ちに処理し、使い切ってください。やむを得ず使い残す場合は外袋が破損した場合には、直ちに住宅地から離れた安全な場所に埋めてください。
- 2 本剤は水溶性フィルムの内袋に入っているため、内袋を濡れた手で触れたり、内袋に水分が付着しないように注意してください。
- 3 温度が低いと本剤のガス化が悪く、十分な効果が得られないこともあるので、なるべく地温が7℃以上のとき使用してください。
- 4 本剤を圃場に処理する場合は、ガスが土中で十分拡散するよう耕起、砕土を十分にを行い、ていねいに整地し、90cm間隔の深さ約15cmの溝に1本施用後直ちに覆土してください。覆土後は直ちにポリエチレン、ビニールなどで地表面を被覆し、10日以上経過してから播種または移植してください。土中でのガスの拡散は土の湿り気のあるとき、すなわち土を握って放すと割れ目ができる程度のときに処理するのが最適です。
- 5 本剤を床土・堆肥に処理する場合は、床土・堆肥を30cmの高さに積み、45cm間隔ごとに約15cmの深さに本剤を1本施用してください。更に30cmの高さに積み上げ、これをくり返し、最後にポリエチレン、ビニール等で被覆し、7日以上おいてください。
- 6 地温が15℃以上のときは処理後10日位、また、地温が低いときは処理後20~30日経過するとガスは大体抜けますが、念のためにくわを入れ、土質、気温などによりなお臭気が残っているときはよく切り返し、完全にガス抜きを行ってから播種あるいは移植してください。うり類は本剤のガスに弱いので、ガス抜きは、ていねいに行うよう注意してください。なお、ガス抜きの際、水溶性フィルムの一部が土壌中に残っている場合には、土壌中にすき込んでください。
- 7 ミツバチの巣箱周辺での使用は避けてください。
- 8 消石灰などのアルカリ性肥料の施用直後に本剤を処理すると作物に有害な物質を作り、薬害の発生するおそれがあるので、このような肥料はガス抜き後に施用するか、または本剤処理の10日以上前に施用してください。
- 9 他剤と混用しないでください。特にカーバム剤およびカーバムナトリウム剤とは化学反応により、発熱し危険であるので、本剤を使用する直前または直後のカーバム剤およびカーバムナトリウム剤の使用は避けてください。
- 10 処理後の放置期間と効果・薬害との関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物の種類によって様々ではないので、使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意してください。特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場等に放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

安全使用上の注意



- 1 医薬用外劇物。取り扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤は窒息性有毒ガスを発生するので、揮散したガスを吸い込まないように注意してください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、通風の良好な場所で顔を横に向け、体を暖めながら直ちに医師の手当を受けてください。場合によっては酸素吸入または人工呼吸を行い、強心剤等を投与してください。
- 2 本剤に使用している包装フィルムは水溶性のため、濡れた手で作業しないでください。
- 3 クロルピクリンは催涙性の刺激を有し、眼、のど、鼻を刺激するので注意してください。ガスが眼に入りひどく痛むときは、多量の水でよく洗い速やかに眼科医の手当を受けてください。
- 4 クロルピクリンは皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 5 本剤の外包装の開封および投棄作業の際は吸入(活性炭入り)付き防護マスク、保護眼鏡、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。外包装の開封はクロルピクリンガスがこもっている場合があるので屋外にて風下に向かって行ってください。ガス抜き作業の際も同様の防護マスク、保護眼鏡を着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗顔してください。
- 6 クロルピクリンが衣服等に付いた場合には、脱衣して他のものとは分けてよく洗濯し、本剤の臭気は抜けるまで身につけないでください。
- 7 かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- 8 作業中およびくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないよう十分注意してください。
- 9 揮散ガスによる危被害を防止するため、本剤の処理は朝夕の気温の低い時間帯に行ってください。処理後は直ちに、必ずビニール等で被覆を行なってください。
- 10 住宅、畜舎、鶏舎周辺での使用に当っては、以下の事項に留意し、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮してください。
 - 1) 高温期の処理を避け、気温の低い季節に処理することをおすすめします。
 - 2) 住宅、畜舎、鶏舎が風下になる場合、処理を控えてください。
 - 3) 被覆資材は厚膜のもの(0.03mm以上)を使用してください。
 - 4) 風の強さや向きが変わり、危被害を及ぼす恐れがある場合は、ガス抜き作業を中断すること。
- 11 本剤をビニールハウス等の施設内で使用する場合、出入口、天窓、側窓等を開け通気をよくして作業を行ってください。作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている期間にはハウス内へ入らないでください。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 12 本剤は水産動植物(魚類、甲殻類、藻類)に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域および養殖池に飛散、流入するおそれのある場所では使用しないでください。空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 13 クロルピクリンは皮膚に対して強い刺激性があります。
- 14 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。盗難、紛失の際は警察に届け出てください。

本製品は農業用土壌くん蒸剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

本印刷物は平成29年1月15日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

CPT1001E



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>